

第十三回 帝國議會 衆議院 商法修正案審查特別委員會速記錄

(第五號)

明治三十二年二月二十四日午後二時二十四分開議

○委員長(大岡育造君) 是ヨリ商法修正案委員會ヲ開キマス、既ニ質問ヲ終ッテ、是ヨリ審議ニ移ルノデアリマス

○(鈴木總兵衛君) 先日來病氣デ、已ヲ得ズ缺席致シマシタガ、唯今質疑ガ終ッテ、今日ヨリ審議討論ニ掛ルト云フコトデゴザイマスガ、其前ニ一ツ御許ヲ願ヒタウゴザイマスガ、逐條デハゴザイマセヌ

○委員長(大岡育造君) 若シ御質問ナレバ——御不審ノ御質問ナレバ、政府委員ニ附イテ御開キニナッテハドウデスカ

○(鈴木總兵衛君) ツレデハチヨット速記ヲ止メテ願ヒマス

(此間速記ヲ中止ス)

○(鮫島相政君) 此審議ノ方法ニ付イテ一言述べマスガ、矢張此案ハ五編ニ分ッテ居リマスカラ、一編ヅ、議題ニ供シテ——先ヅ第一編ノ全部ヲ議題ニ供シテ、サウシテ異議アル人ガナケレバ、第二編ニ移ルコトニシタガ、進行シヤシナイカト思ヒマス

○(花井卓藏君) 私モ其説ニ賛成致シマス

(「同意」ト呼フ者アリ)

○委員長(大岡育造君) 然ラバサウ云フコトニ致シマス、第一編ヲ議題ニ供シマス

○(花井卓藏君) 此第一編ニ付キマシテモ、修正致シタイ廉ハ澤山アルノデゴザイマシテ、且ツ質問ノ際ニモ、其理田ヲ十分ニ辯明致シテ置キマシタガ、成ルベク考案ノ中ノ分ハ、無理ニモ其方ニ譲ルト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、外ニ重要ナル修正ガアリマスルガ故ニ、一編ダケハ歡迎シテ、賛成ハ致シマセヌガ、免ニ角私ハ、異議ナキ事柄ヲ明言シテ置キマス

○(後藤文一郎君) 第一編ハ、原案ヲ賛成致シマス

○(鈴木總兵衛君) 私モ矢張原案賛成デゴザイマス

○委員長(大岡育造君) 別ニ御異議ガゴザイマセヌカラ、第一編ハ、原案ノ儘ニ可決スルコトニ致シマス、第二編

○(花井卓藏君) 私ハ此第二編ノ第一章總則ト云フ中ニゴザイマスル、第四十八條ヲ修正致シタイデゴザイマス、其修正ノ文章ヲ讀ミ上ゲタガ宜カラウト思フノデアリマス「會社ノ代表者カ會社ノ業務ニ就イテ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行為ヲナシタルトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其解散ヲ命スルコトヲ得」斯ウ云フノデアリマス、其理由ハ略々質問ノ際ニ述べテ置キマシタガ、サウシテ其質問ノ際ニハ、此問題ニ附イテハ、慥カ三回バカリモ政府委員ト爭ッテ置イタト思ヒマス、速記錄ニハ數號ニ互ッテ、其議論ガ載ッテ居ルト思ヒマスガ、唯一ツ有力ト思ハレル議論ガアリマ

スカラ、ツレヲ駁撃シテ、意見ニ代ヘタイノデアリマス、ツレハ政府委員ガ答辯サレタ一箇條デアアル、速記錄ノ第二號ノ十八頁ニアル所デアリマス、此修正ノ意見ニ附キマシテハ、理論トシテハ政府委員モ、甚ダ御不同意デハナカッタヤウニ心得テ居ル、又斯ノ如ク書ク事柄ガ、必シモ不當デハナイト云フ事柄ハ、御認メニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラズ様ナル文字ヲ加フルト、辭ガ不正確ニナルデアラウト云フノハ、取締役ノスル仕事モ其中ニ這入ルシ、株主總會ノ決議ガ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルト云フヤウナ場合ニ於テ、唯單ニ代表者ト云フ文字デハ困ル、強ヒテ云ツタナラバ代表者ノ下ヘ、又ハ株主總會ト云フ文字ヲ入レタナラバ宜カラウケレドモ、サウ云フ風ニスレバ、言葉トシテ面白クナイカラ、ツレデ會社トシタト云フ梅政府委員ノ御説デアリマシタガ、此理由ハ全ク根底ヲ誤ッテ居ルト云フノハ、私ノ信ズル所デハ、株主總會ガ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル決議ヲ致シマシタ所デ、其決議自体ハ、法律上ノ言葉ヲ以テ、行為トハ名ヅクベキモノデナイ、又之ヲ行為ト言フ人間ハ、恐ラクアルマイト思フ、ツレデ會社ガ世間ニ對シテ責任ヲ帶ブルノハ、詰リ其働ガ外部ニ現ハレテ、始メテ責任ヲ負フノデアアル、株主總會ガ決議スルト云フ事柄ハ、會社ガ内部デ一ツノ問題ヲ決スルト云フ事柄ニ過ギナイノデ、其決議自体ガ、第三者ニ效ヲ持ツモノデナイ、ツレ故ニ政府委員ノ如ク、株主總會ノ決議ト云フモノヲ假リニ行為ト見タ所デ、其コトハ外部ニ對シテ何等ノ差響ヲ來サヌト思フ、サウシテ尙ホ斯ウ云フ理由ガアル、會社ニシテ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行為ヲ致シマシタ場合ハ、其行為自体ト云フモノハ、法律上效ノナイコトデアアル、效ノナイ事柄ヲ會社ガ決議シタ所デ、第三者ニ對シテ決議シテ效果ヲ生ゼヌ、又會社ノ内部ニ向ッテモ效果ヲ生ゼヌト信ズル、又取締役ガ斯ル決議ノ施行スベキ法律上權利ハナイ、ツレ故ニ取締役ガ、其決議ノ施行ヲナシタ場合ニハ、決議ノ施行ト云フ事柄ニ見ルヨリハ、會社ノナス可ベカラザル事柄ヲナシタト云フ點ニ見ルヨリホカナイ、又或會社ノ事業ニ付イテ、不法ノ行為ヲ代表者ガ是認シテ、爲シタトシタ所ガ、其責ハ代表者ニ歸セナケレバナラマデ、右ノ如ク如何ニ解釋スレバトテ、梅君ノ議論ハ到底立ッヘキモノデナカラウト思フ、是ガ政府委員ノ説ノ反駁トシテ十分ト思フ、尙ホ終リニ一言加ヘテ置キタイノハ、成ル程私ノ云フガ如キ議論モアラウ、併ナガラ會社ガ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル決議スルト云フ事柄ハ、甚ダ不穩當ノ事柄デアアル、商業社會ノ秩序ヲ亂ルト云フ御議論ガアルカ知ラヌガ、併ナガラ商事會社ト云フモノヲ、政黨政社ト云フモノト同一ニ見做シ、或ハ憲政黨トカ、憲政本黨トカ云フノデ、決議スルト、其決議ヲ實行スル其行為ガ、現ハレルヤ否ヤト云フコトハ姑ク措イテ、政治社會ニ大變ニ影響ヲ與ヘルガ、商事

會社が無効ノ決議ヲシタメニ、商事會社ニ影響ヲ與ヘルモノトハ見ラレナイ、故ニ此等ノ點ニ付キマシテハ、私ハ唯今申上ゲタ如クノ意見ヲ持ッテ居マス、以上ノ理由ニ尙ホ且質問ノ際ニモ述べマス如ク、元來斯ウ云フ事柄ト云フモノハ、會社自身トシテ爲シ得ベキコト、云フモノハ、事實ニ於テ見ラレヌ話デアル、會社ハ無論法人デアル、自然人デハナイカラ、會社ガ公ノ秩序ニ反スル行爲ヲナシ、又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ト云フモノヲ見ルコトハナイ、法人ト自然人トハ違フ、マタ是ニ牽聯スル理由ハ幾ラモアリマスガ、政府委員ノ理由トスル所ハ、言葉ガ面白クナイト云フダケデアルケレドモ、原案ハ必ズシモ言葉ガ正シイト云フ趣意モナイカラ、是ダケノ數文字ヲ加ヘルガ相當ダト思フカラ、此修正案ヲ提出致シマシタ

○(後藤文一郎君) チョット花井君ニ御尋フスルガ、唯今ノ修正文案ハ「會社ノ代表ハ會社ノ業務ニ附キテ」ト斯ウ修正スルノデスカ

○(花井卓藏君) サウデス

○(後藤文一郎君) 其修正ハ、原案ト意味ガ違フノデスカ

○(花井卓藏君) 違ヒマス、私ノ説ト云フモノハ、此四十八條ニ掲ゲテアルコトハ、出來ヌト見テ居マス、法人ダカラ

○(後藤文一郎君) 唯今ノ修正案ニ對スル、政府委員ノ意見ヲ聽キタウゴザイマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 此四十八條ノ規定ニ就キマシテハ、度々修正ノ御趣意ヲ以テ御質問ガアリマシテ、其都度吾々ノ方ガ御答ヲシタコトガアリマス、大概議論ノ岐レル所モ分ッテ居ラウト思フカラ、簡單ニ花井君ノ修正意見ニ賛成スルコトガ出來ナイト云フ理由ヲ述べタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ此商法ノ修正案ニ付キマシテハ、第二百六十一條第二百六十二條ノ規定ヲ御覽下サレバ、此修正案ハドウ云フ文字ヲ使ッテ居ルカト云フコトガ、御分リニナラウト思フ、第二百六十一條第二百六十二條ニ於テ、合名會社或ハ合資會社ニ於テハ「會社ノ業務ヲ執行スル」ト云フ文字ヲ用井テ居ル、コレカラ株式會社ハドウデアルカト申シマスト、株式會社ハ殊更ニ「取締役」ト云フ文字ガ用井テアル「代表者」ト云フ文字ハ、唯外國會社ニ付テノミ、特ニ其文字ヲ用井タノデ、是ハ特別ノ名稱ヲ附スルコトガ出來ナイモノデアリマスカラ、廣ク代表者ト云フ文字ヲ用井タガ、其他ノ會社組織ニ付イテハ、各文字ヲ別ニシテ、特別ノ名稱ヲ有スルモノハ、文字ヲ用井テアリマスノデ、此文例ノ上カラ申シマシテモ、此會社ノ組織ニ、會社ノ代表者ト云フ文字ヲ用井ルト云フコトハ、全體ノ文例ニモ反スルコトデアラウ、斯ウ考ヘマスノデアリマス、第二ニハ、花井君ノ云ハレル理論ニ付キマシテ、前回デアリマシタガ、私ヨリ御答ヲ致シマシタ通り、何々ノ法律行爲之ヲ無効トスル規定ハ、民法商法其他ノ法典ニ幾ラモアルノデアリマスガ、若シ花井君ノ云フ通り、無効ノ行爲ハ行爲デナイト云フ議論ヲ採ッタトキ、法律行爲ハ之ヲ無効トスルト云フ文字ガ、既ニ惡イノデアッテ、又之ヲ修正シナケレバナラヌコトニナ

ルノデアリマス、併ナガラツレハ、即チ便宜上ノ規定デアッテ、無効ノ法律行爲ハ、無論法律行爲デハナイガ、先ヅ法律行爲ナリト見テ、而シテ法律行爲ノ結果ガ往カヌト云ヘバ、是ハ無効デアル、サウ云フヤウニ文章ニ書クナレバ、矢張花井君ノ議論ニ反スル書方デアルカラ、已ムヲ得ズ之ヲ認メルコトニセヌケレバナラヌト思ヒマス、又花井君ノ云フ如ク、會社ノ代表者ガ會社ノ業務ニ付イテ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル、反スルコト、書イテモ同ジコトデ、矢張御説ノ行爲タルヤ、會社ノ代表者ト云フノ資格ヲ以テ、其不法行爲ヲ爲スト云フコトハ、固ヨリ法律ニ於テ認メラレヌノデアリマスカラ、恰モ法律行爲ハ之ヲ無効トスルト云フコトガ、若シ議論ノ上デ惡ルケレバ、會社ノ代表者ガ會社ノ業務ニ付イテ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルト云フコトモ、矢張穩カデナイカモ知ラヌ、理論カラ云フト、サウ云フ理論ヲ採ッテ行クトキハ、會社ヲ代表スル所ノ權限ヲ持ッテ居ル人間ガ、自己ノ考デシタコトハ、會社ノ責ニ歸スベカラザルモノデアルケレドモ、自己ノ考デ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタ場合デアラナラバ、其代表者自身ガ責任ヲ負フベキ代表者ノ行爲ノタメニ、會社ガ解散セラレルト云フ結果ヲ來タスベキモノデハナイ、文字ノ上ノ議論ニ付イテハ、結局同ジデハナイカ、花井君ノ言フ通りニシテモ、花井君ノ議論ニモ合ハヌシ、此商法ノ修正案ノ文字ヲ用井テモ、矢張花井君ノ議論ニ合ハヌノデ、詰リ度々吾々カラ説明ヲ致シマシタ通り、寧ロ便宜上ノ文字デアル、會社ノ組織デアッテ、總テノ會社ニ適用ヲ致シマスカラ、便宜上廣ク書イテ置ク方ガ、便利デハナイカト云フ考デ、四十八條ノ規定ヲ設ケタノデアリマス

○(花井卓藏君) モウ大底盡テ居ル事柄ハ、申上ゲマセヌガ、唯今ノ御説明ノ中ニ、從來疑ウテ居リマシタ所デ、殊ニ二ツダケ新シイコトヲ云ハレタ、其點ニ付イテ駁撃ヲ致シマス、第一ハ二百六十一條ヲ御引用ニナッテ、代表者ト云フ文字ヲ使フト云フ事柄ガ、文例ノ上ニ於テモ、穩デハナイカト云フ御説デアリマス、此ハ唯今マデ聽カナカッタノデアリマス、成程二百六十一條ヲ讀ンデ見マスト云フト、發起人會社ノ協議ヲ執行スル社員ノ取締役外國會社ノ代表者トナッテ居ル、即チ私ノ考デハ、此會社ニ關スル總則ニ、外國會社ノ代表者ト書イテアレバ、二百六十一條ニゴザイマス、或ハ業務ヲ執行スル社員デアルトカ、或ハ取締役ト云フモノモ含マレルモノデアラウト思フ、代表者ト云フ文字ガ、外國會社ノ次ニ書イテアルト、其内ニ包含セラレヌト云ハレヌト思フ、況ヤ總則デアリマス、合名會社デアルトカ、何々株式會社デアルトカ、合資會社デアルトカ、直チニ分リ得ベキモノデアアル、左様ニ文字ニ拘泥スベキモノデナイト思フノデアアル、而シテ假リニ政府委員ノ主張サル、如ク、代表者ト云フ文字ハ、二百六十一條ト具ッタモノデアリマスレバ、商法施行法ノ内ニ於キマシテ、第四十八條ニ云フ代表者ヲ廣キ意味ノモノデアルト云フコトハ、言現ハシテ差支ナイノデアアル、ツレニ付キマシテ未ダ商法ハ精讀ハシマセヌガ、私モ施行法中ノ法文ノ足ラザル所ヲ補ウ

テ……現ニ速記以前ニ岡野政府委員ハ、解釋上多少サウ云フ事柄モアルト云ハレタ、是ガ施行法ヲ補ヒガ付カヌト云フコトハナイト思ヒマス、補ヒガ付カヌトシマスレバ、先刻申シタ通り此代表者ヲ含マレヌト云フコトガ、穩當デアルト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ異ナル事ヲ申サレタノハ、前回ニ於テ表ハレタノデアリマスカラ、即チ此法文自体ガ、私ノ議論トシテ、政府委員ノ議論トシテ合ハヌト云フ事柄ハ、私ハ爭ヒガナイノデアリマス、即チ詰リ便宜上ノ規定ト云フコトニ至リマスレバ、其便宜上ノ規定ヨリ私モ認メルノデアル、既ニ認メタ以上ハ、字ニ害ガナクテ、最モ分リ易キ最モ法理的ニナリ、且ツ實際的ナル文字ヲ掲ゲルト云フコトハ、甚ダ適當デアルト思ヒマス、其他ノ問題ハ、屢々現ハレタノデアリマスカラ、ソレハ述ヘマセヌ、唯只今ノ二點ダケヲ、特ニ今日申サレタノデアリマスカラ、申シテ置キマス

○(望月長夫君) 私ハ此方ノ修正ニハ、花井君ニナマ賛成ヲシテ居ッタガ能ク、考ヘテ見ルト、花井君ノ意味ガ相違デアルト云ハレルケレドモ、殊更意味ヲサウセシメテ、サウシテ是ダケノ修正ヲ加ヘル必要ヲ認ルコトガ出來ヌト思フ、成程會社自身ガ——會社ト云フ無形人ガ、大キニ秩序ヲ害スルカ、純良ノ風俗ヲ害スルコト云フコトハ、明瞭デアアル、ソレヲ代表者ガスルモ、亦代表個人ノ代表者ト、會社ノ代表者ト、一ノ資格ヲ以テ居ルモノガ代表者中ノドノ會社ノ業務ニ就イテノ爲シタ場合デナケレバ會社ヲ害サントスルコトガ、出來ナイト云フコトハ、斯ウ是ヘ書ケバ、十分ノ意味ナルト云フコトハ、アルニ相違ナイケレドモ、法律上ノ解釋トシテ、自身ノ會社ノ代表者ガ、爲シタノデアアル、ソレカラ會社ノ業務ニ關係スルコト云フコトデナイケレバ、此會社ヲ爲シタノデアリト云フコトハ、自然ニ出テ來ヤウト思ヒマス、此法案總テヲ通覽シテ見マス、會社自身ハ到底シナイ、必ズ會社自身ガスルノデアリニ相違ナイカラ、前條四十七條ニ、會社ハサウ云フコトハ出來ヌケレドモ、此行爲ハ必ズ會社ガスルニ相違ナイカラ、斯ウ云フ場合ニ、常ニ會社ノ代表者トナリマスノニ、特ニ此條バカリ代表者トスレバ、決シテ會社ガ會社自身ノ行爲ヲセヌカ、會社ノ代表者ガ常ニ行爲ヲセヌケレバナラヌト書イテ來ナケレバ、分ラヌヤウニナルト思ヒマス、要スルニ花井君ノ修正ガ、不當デアルトハ存ジマセヌケレドモ、此修正ガナクテモ、花井君ノ趣意ノ如クニ此四十八條ノ解釋ハ、左程ニ攻究ヲ費サズシテ、十分ニ出來ヤウト思ヒマスカラ、茲ニ受ケテ此修正ガ、全体ニ完備ヲ得ナイト考ヘマスカラ、免ニ角此會デハ、私ハナマ賛成ヲ取消シテ、茲ニ更ニ賛成シマス

○(後藤文一郎君) 詰リ私モ原案賛成ノ一人デアリマスガ、成程其業務ニ就クト云フ事柄ヲ記載スルコトハ、是ハ質問會ノトキニ、矢張政府委員ニ御尋シタ所ガ、會社ガ其業務ニ就イテノ事柄ハ、當然ノ話ダカラ、其明文ヲ要サナイト云フコトデアリマス、是ハ法律ノ解釋上當然デアラウト考ヘマス、此會社ハ無論人ノ謂フ代表サレルノデ當然デアアル、旁々以チマシテ要スルニ原案ヲ修正スル必要モアルマイト思ヒマス

○(花井卓藏君) 私ノ名譽ノ爲メ一言シテ置キマス、望月君ノ言ハレル如ク此文字ヲ加ヘテ、全般ニ響キハ來サヌト云フコトデアアルガ、ソレハ意味ハ全ク違フ、會社ハ斯ウ云フ行爲ハ自体出來ナイ、毛頭ナスコトガ出來ナイト云フコトデアアル、詳細ナル法理論ハ、既ニ業ニ論ジ盡シテ居リマスカラ、此場合コレダケ一言シテ置キマス

○(鯨島相政君) 本員モ望月君ト同シク花井君ニ賛成シテ居ッタガ、丁度望月君ノ御意見ノヤウニ、本條ダケノ修正ニハ反對デ、矢張原案デ差支ナカラウ、花井君ノ修正ハ、文字ノ修正ニ止ルコトニナラウト思ヒマス、ソレデ原案ニ賛成シマス

○(花井卓藏君) 鯨島君ノ御議論ニ付テマアリマスガ、此文字ナシデハ、日本ノ裁判官ガ、解釋スル程ノ者ガナイト云フコトヲ一言シテ置キマス

○委員長(大岡育造君) 速記モゴザイマスカラ、追々、ソレハ證明サレルトキモゴザイマセウ先ズ花井君ノ修正說ニ御同意ノ方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 少數

○委員長(大岡育造君) 少數デアリマス、其次ニ御修正ガゴザイマスレバ……

○(花井卓藏君) 第五十八條ヲ修正致シタイト考ヘル、文章ダケヲ讀上ゲマス「定款ノ變更ヲナスニハ總社員ノ同意アルコトヲ要ス」而シテ定款ノ變更以下其他會社ノ目的ノ範圍内ニアラザル行爲ト云フ數文字ヲ削ルト云フコトデアリマス、修正ノ理由ヲ述ベマスガ、是ハ質問ニ盡キテ居ルノデス、新ラダナル議論ガ出マセヌ以上ハ、別ニ私ハ述ベマスマイ、成立ツト成立タヌトハ、私ニ於テ毫モ顧ミル所デアリマセヌ、私ハ十分ニ盡シテアルダケハ、言ヒ盡シテアル積リデス

○(後藤文一郎君) 私ハ本條ニ付イテハ、花井君ニ賛成致シマス、其他會社ノ目的ノ範圍内ニアラザル云々ト云フコトハ、誠ニ漠ト致シテ居リマス、質問ノ際ニモ其事柄ガ、大分御意見交リニ、花井君ヨリ御説明ニナッタヤウニ考ヘマスカラ

○政府委員(梅謙次郎君) 此修正ノ箇條ニ付イテハ、質問ノ際ニ理由ヲ述ベテ置キマスカラ、唯今述ベマセヌガ、文字ガ他ノ部分ト揃ヒマセヌト云フコトヲ、御注意致シテ置キマス、定款ノ變更ヲナスト云フ際ニハ、サウ云フコトハ使ッテ居リマセヌカラ

○(花井卓藏君) 一向妨ゲハナイノデアリマス、文字ノ論ニ過ギヌ話デスカラ、此ノ修正案ガ成立テ、文字ノ御修正ニナルコトハ、本員ナドハ異議ハナイノデス

○(石黒瀧一郎君) サウスルト修正ノ趣意ハ、畢竟其他會社ノ目的ノ範圍内ニ非ザル行爲ヲト云フ文字ヲ除ケバ、定款變更ト云フ中ニ、目的ノ範圍外ノコトヲナス時分ハ、包含サル、カラ、無用ノ文字デアルト云フコトニナリマス

○(花井卓藏君) 左様デハアリマセヌ、簡單ニ説明致シテ置キマス、是ニ附イテハ理由ヲ言ヘバ、數十日間ノ長キニ渉リマスガ、短ク申セバ、會社ノ定則トシテ、法人ノ定則トシテ、目的ノ範圍外ノコトハ出來ヌデアリマス、然ルニ合名會社ニ限ッテ、他ノ會社ト異ナリタル規定ヲ設ケルト云フ事柄ハ、毫モ理由ガナイ、法人ノ性質ト云フモノヲ、度外視シテ規定デアルト云フノガ一ツ、ソレカラモウ一ツ重要ナル點ガアルノデ、此合名會社ト云フノハ、丁度組合契約カラ法人ニ移ル間ノ過渡ノ場合ニアル性質ノモノ、ヤウニ見ラル、又或ハ沿革上サウ云フヤウニナッテ居ルノデアアルケレドモ、法人ト見テシマツタ以上ハ、萬般ノ法人ニ適用スルノガ當然デアルト思ヒマス、ソレ故ニ簡單ニツレダケノコトヲ以テ、御答辯致シマス

○(鈴木總兵衛君) 私ハ原案デ差支ナイト思ヒマス

○(石黒瀧一郎君) チョット政府委員ニ此點ニ向ッテ、御尋シテ置キタイト思ヒマスガ、會社ノ目的ノ範圍内ニアラザル行爲ハ、定款ヲ變更スルコトナクシテ、總社員ノ同意サヘ得ルナレバ、何時デモスルコトガ出來ルト云フ話ニナルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 先ヅ第一ニ、唯今ノ御質問ニ對シテ御答致シマスガ、此第五十八條ノ規定ハ詰リ大体、斯ウ云フ趣意デ出來テ居リマス、定款變更ト云フコトハ、即チ將來ニ於テ變更シタル定款ニ依ッテ、其定款ニ從ッテ會社ガ營業シテ行クト云フ場合ニ、定款ノ變更ヲシテ行ク、其他會社ノ目的ノ範圍内ニ非ザル行爲ト云フコトハ、全ク一時例ヘバ水害ノアツタ時分ニ、會社ノ名義ヲ以テ寄附金デモシヤウト云フコトガ、實際アルデアラウト思ヒマスガ、其場合ニハ、全ク一時其行爲ヲナスダケデアッテ、將來ニ於テ其行爲ヲ繰返シテヤラウ、其行爲ヲ幾度モシヤウト云フノデハ、ナイノデアリマスカラ、無論社員ガ定款ノ變更ヲセズニ出來ルノデアアル、サウ云フ便宜ヲ與ヘルタメニ、會社ノ目的ニ非ザル行爲ヲナスト云フ文字ヲ使ッタノデアリマス、花井君ノ御意見ニ對シテ、極メテ簡單ニ反對ノ理由ダケ申シテ置キタイノハ、先ヅ第一ニ花井君ハ、合名會社ニ就イテ他ノ商事會社ト違ッテ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケル必要ガナイト云フコトデアリマスガ、是ハ恐ラクハ花井君ノ誤解デアラウト思フ、ソレハ各合資會社ニ附イテハ、合名會社ノ規定ヲ準用スルノデアリマス、故ニ此ノ第五十八條ノ規定モ、合資會社ニ倣ッテ行クノデアリマス、唯異ナル所ノモノハ、株式トツレカラ株式合資會社デアリマス、是ハ花井君ガ此案ニ對スル御考ガ誤ッテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、一言致シテ置キマス、第二ニ此ノ第五十八條ノ規定ノ如キハ、現行合名會社ノ規定ニ全体アルノデス、現行法ノ即チ明治二十六年以來今日マデ行ハレテ居ル、其規定ノタメニ特ニ不便ヲ感ジタトカ、或ハ損害ヲ受ケタト云フヤウナ例ハ、曾テ見聞シタコトガナイノデアリマス、元來商法修正案ノ趣意ハ、現行法ニ於テ差支ナイコトハ、餘リ改メヌト云フノ趣意デアリマスカラ、ツレデ態ニ此點ニ附イテ、現行法ニ對スル修正ヲ加ヘナカッタノデアリマス、

第三ニ申シタイノハ、花井君ノ御議論ハ、根本ハ私ハ贊成シテ居ルノデアアル、併ナガラ若シ花井君ノ御議論ヲ、理論上ドコマデモ貫徹スルコトニナレバ、定款ノ變更ト云フコトモ認ムルコトガ出來ヌヤウニナルノデアリマスカラ、ソレデ法理上ノ議論トシテハ、花井君ノ言ハル、所ニ私ハ贊成スルノデアリマス、併ナガラ其法理論ヲ嚴格ニ商事會社ニ適用シテ行クト、不便ヲ免レヌノデアリマス、定款ノ變更ト云フコトハ、無論認ムルノデアアッテ、花井君モ定款ノ變更ト云フコトヲ認メラル、以上ハ——花井君ガ無論ナイト信ジテ居ラル、コトニ依ッテモ、矢張例外ノコトニナルノデアリマスカラ、例外タルコトニ至リテハ、ソレニ反スルヤウニ思ヒマスガ

○(花井卓藏君) 簡單ニ申シテ置キマスガ、合資會社ニ準用スト云フコトナラ、法人ノ目的ノ範圍外ノコトハ、ナサレヌト云フ議論ヲ一層動かズニ取リタイト思ヒマス、段々進ンデ株式會社ニモ宜イ、株式ニモ宜イト云フ自然ノ傾キニナッタラ、法律ノ進歩デモ何デモナイ、益々大間違ノコトガ殖エルト云フコトニナルト思ヒマス、ソレカラ大變強イヤウナ、誤魔カサレサウナ議論ガアル、ソレハ若シ繼續ノ議論ガ正當ナラ、變更ヲナスノガ事体イカヌト云フ議論ガアツタ、甚ダ穩カデ迷ヒ易イ議論デアルガ、物ヲ知ッテ居ル者ハ驚カヌノデアアル、定款ノ變更ハ勿論出來ルガ、會社ノ目的ハ範圍外ニ置イテミナケレバナラヌト云フコトハ、御注意ヲ願ッテ置キタイ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ解釋ガ誤ッテ居ラウト思ヒマス、其證據ハ、第二百九條ニ定款ノ變更云々ト云フ規定ガアル、其終ニ「前二項ノ規定ハ會社ノ目的タル事業ヲ變更スル場合ニハ之ヲ適用セス」トアッテ、一項ノ趣意ハ、會社ノ目的タル事業ヲ變更スル場合ニモ適用スルト云フノデ、定款ノ變更ト云フハ、第一カラ末條ニ至ルマデ變更デアリマス、目的ヲ變更スルノハ、定款ノ變更デアアル、花井君ハ、定款ノ變更ノ中ニ會社ノ目的ノ變更ハ、這入ラヌト思ッテ居ラレタ、誤解デアリマス

○(花井卓藏君) 唯今ノ説明ニ依リマシテ、私ハ十分前説ヲ維持スルコトガ出來ルト思ヒマス、決シテ梅政府委員ガ言ハル、如キ、誤解ヲシテ居ルノデハアリマセヌ

○委員長(大岡育造君) 大概宜シウゴザイマセウ、花井君ノ修正「其他會社ノ目的ノ範圍内ニ非サル行爲」ト云フ數文字ヲ削ルト云フコトニ御同意ノ方ハ手ヲ舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長(大岡育造君) 多數デアリマス、修正スルコトニ決シマス

○(鈴木總兵衛君) 私ハ此百二十條ノ「發起人ハ此定款ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス」ト云フ此條ニ附イテ修正シタイト思フ、其第六ニ「本店及支店ノ所有地」トアル、其中ノ「及支店ノ所有地」ト云フ文字ヲ削ル、其次ニ第七ノ「會社カ公告ヲ爲ス方法」トアル、之ヲ全部削リタイト思フ、是ハドウモ支店ノ所有地ト云フト、實際ニ當ッテ不便ノコトガア

ル、支店ヲ愈々置クカ置カヌカニ付イテハ、株主總會ノ決議ヲ以テヤルベキモノデナク、取締役ノ隨意ヲ以テナスベキモノデアルト思フ、ソレヲ總會ノ決議ヲ以テ上申シ、認可ヲ受クルモノデアルトスルト、ソレデハ私ハ實際ニ當ツテ不便ヲ感シタコトガ二度モアリマシテ、ドウカ是非本店ダケニ致シタイ、ソレカラ第七ハ全部削リタイノデス、是モ公告ニ付イテ何新聞ニシロトカ、地方ニアツテハ非常ノ干渉ヲ受ケテ、迷惑ヲ感ズルノデ、之ハ削ッタ方ガ宜イト思フ、且ツ前ノ六ノ支店ノ所在地ト云フコトニ付イテハ大藏省ナドデモ何町何番地ト云フコトヲ記載シナケレバ、許可シナイト云フコトデ、實ニ迷惑ヲシタコトモアリマス、又是ハナクツテモ決シテ取締役ガ隨意ニスルト云フコトハ出來マセヌノデスカラ、ドウカ削除スルニ致シタイ

○(花井卓藏君) 理論ハ甚ダ感服致シマセヌガ、便宜トカ實際トカ云フコトハ、政府委員モ御參酌ニナツテ居リマスカラ、此點ハ政府委員ノ平素ノ御議論ヲ贊成スルガ故ニ、鈴木君ニ贊成致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一ニ鈴木サンハ、餘程唯今御述べニナツタ點ニ付イテハ、商法修正案ノ趣意ヲ現行法ノ如ク解釋サレテ居ル所カラ、生シタ御考デハナイカト云フコトヲ私ハ感シタノデアリマス、第一ニ現行法ニ於キマシテハ、株式會社ノ設立ニ付イテ、設立ノ免許ト云フコトガ、必要ニナツテ居リマス、ソレカラ設立シタ後ニ於テ、定款ノ變更ヲシタ場合ニハ、現行法ノ是ハ缺點デアリマスケレドモ、定款ノ變更ノ認可ト云フコトハ、決シテ必要ニナツテ居リマセヌノデアリマス、登記所ニ定款ヲ變更シタト云フコトヲ登記シテ置イテ、サウシテ主務官廳ニ其旨ヲ届出ツレバ、ソレデ宜イノデ、主務官廳ハソレヲ認可スル認可セヌト云フノ自由ヲ持ッテ居ラヌ、ソレハ現行法ノ規定ノ上ニ於テ、誠ニ明カナコトデアル、免ニ角現行法ニ於テハ、定款變更ノ認可ト云フコトハアリマセヌデモ、或ハ發起人ノ認可トカ、或ハ設立ノ免許トカ、其他行政官廳ガ株式會社ノ事業ニ干渉スルト云フコトハ、認めテ居ルノデアリマスケレドモ、此今度ノ商法修正案デハ、實際サウ云フコトハ認めナイノデアリマス、從ツテ設立ノ免許トカ又定款ヲ如何ニ變更スルトモ、其變更ニ附イテ行政官廳ノ認可ヲ得ナケレバナラヌトカ、行政官廳ノ干渉ヲ受ケルコトハ、一ツモナイノデアリマス、將來此商法修正案ガ行ハレタ後ハ、唯今鈴木サンノ仰ツタヤウナ不便トカ、迷惑トカヲ感ズルコトハ、決シテアリマセヌノデス、若シアツタナラバ、ソレハ行政官廳ノ不法ト云ハナケレバナラヌ、故ニ今日マデハ或ハ實業ニ當ラル、諸君ハ、行政官廳ノ干渉ガ煩雜デアルト云フコトカラ、大ニ不便ヲ感セラレタコトハ、是ハ私モ實見シテ居ルノデアリマス、併ナガラ將來ニ於テハ、サウ云フ干渉ハ實際ナクナルノデアリマスカラ、ドウカ左様ニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ此本店及ビ支店ノ所在地ト云フ文字ハ、第五十條ノ「合名會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各社員之署名スルコトヲ要ス」トアリマス、此五十條ノ四項ニ「本店及ビ支店ノ所在地」ト云フコトガアリマス、此本店及ビ支店ノ所在地ト云フ

コトハ、第五十一條ノ二項ニアル所ノ本店及ビ支店ト云フモノトハ、違ッテ居ルノデアリマス、恰モ株式會社ノ部ニ於テ、第二百十條ニアル本店及ビ支店ノ所在地ト云フ文字ト、第四百十一條ノ二項ニアル本店及ビ支店ト云フノト、違ッテ居ルダケ同シヤウニ違ッテ居ル、而シテ定款ヲ作ルトキデアリマスカラ、本店及ビ支店ノ所在地ト云フコトハ、イヅレノ地方ニ支店ヲ置クノカ、大阪ニ置クノカ、京都ニ置クノカ、神戸ニ置クト云フコトヲ定款ニ記載スルノデアル、登記ニ記載スルニハ、神戸ノ支店ハ例ヘバ神戸ノ何町支店ト云フコトヲ登記サセル考デアリマスケレドモ、定款ニ書クニハ未ダ會社ガ十分成立ッテ居ル時期デアリマセヌカラ、先ヅドコヘ置クト云フ大体ノ所在地ヲ定メテ記載シテ置ケバ宜イノデアル、又大藏省ガ細カナコトヲ云ツテ困ルト云フ御話ガアリマシタガ、今度ハ大藏省ドコロデハナイ、總テノ行政官廳ハ悉ク一口モ此修正ノ行ハレタ以後ハ云フコトハ出來マセヌノデアリマスカラ、實際行政ガ彼此言ウテ迷惑スルト云フコトハナイノデアリマス、ソレデ又支店ト云フコトハ、會社ノ營業カラ云ヘバ、隨分重大ナルモノデアリマス、鈴木サンノ言ハル、如ク、取締役ガ勝手ニ支店ヲ配當スルコトハ出來ルモノデナイ、若シソレヲ鈴木サンノ仰セノ如ク取締役ニ一任スルト云フコトニ御覽ニナレバ、ソレハ此商法修正案ノ誤解サレテ居ルト思フ、ソレカラ第七項ノ削除ノ御意見デアリマス、是ハ東京ノ商業會議所カラモ、矢張修正意見モアルヤウニ聞イテ居リマス、此會社ガ廣告ヲナス方法ト云フノハ、非常ニ重大デアル、故ニ將來此商法修正案ニ從ツテ設立セラレントスル所ノ會社ニ付イテハ、廣告ヲナス方法ハ、固ヨリ定款ニ定メテ置カナケレバナラヌモノデアルト云フコトハ、認めテ居ル、又商業會議所ノ人々モ、其點ハ十分ニ承知シテ置タト思フノデアリマス、所ガ俄ニ其修正意見ヲ提出シタトキニ、ソレハドウスルカト云フト、是ハ既設ノ會社ガ、其廣告ヲナス方法ト云フモノヲ、定款ニ極メナケレバナラヌト云フコトニナツテハ、既設ノ會社ガ、甚ダ不便デアル、故ニ將來設立セラレントスル所ノ會社ニモ、廣告ヲナス方法ヲ削ッテシマフジヤナイカト云フノガ、修正意見ノ大要デアル、ソレハ甚ダ誤ッタ說デアツテ、既設會社ノ廣告ヲナス方法ト云フモノハ、定款ニ極メナケレバナラヌト云フノガ、不便デアルカラ、縱令將來設立セラレントスル會社ニハ、廣告ヲナス方法ヲ必要ト認メテ居ルケレドモ、併ナガラ之ヲ削ラナケレバナラヌト云フ意見ハ、甚ダ私共感服シナイ議論デアル、而シテ此會社ハ、廣告ヲナス方法ハ、何故ニ第二百十條ニ定メタカト云フト、是ハ先キノ方ノ規定ニモ、株式會社ガ廣告ヲナス場合ニハ、固ヨリ株主ト云フモノ、數モ、ナカク、多數デアツテ、又場合ニ依ツテハ、一々通知ヲセヌデモ宜イト云フコトヲ、認めテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ少ナクとも廣告ヲナス方法ト云フモノハ、定款ニ極メテ置カナケレバナラヌト云フト、大變ニ株主ノ迷惑ニナルノデアル、又此方法ニ付イテ、或ハ裁判所ガ、ドノ新聞デナケレバナラヌ、彼ノ新聞デナケレバナラヌト云フヤウナコトヲスルノハ、面倒デイケナイト云フ御說デアリマス、ケレ

ドモ、之ヲ商法修正案ニ附イテハ、決シテサウ云フコトヲ認メテ居ルノデハナクシテ、一ニ是ハ會社ノ定ムル所ニ依ツテ、自由ニ如何ナル方法デモ、取ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、決シテ裁判所ノ干涉ガアルト云フヤウナ疑ハ、毛頭ナイノデゴザイマスカラ、ツレモ併セテ一言シテ置キマス

○(望月長夫君) 唯今鈴木君ノ修正說ノ中六號ノ條項ハ、今政府委員ノ説明ニ依ツテ見レバ、削ズランナラヌ必要ハナイト思ヒマスケレドモ、實際ニ當テ、鈴木君ノ言ハレル如キ不便ガアリトスレバ、之ヲ削ズルト云フコトニ附イテ、反對ハ致シマスケレドモ、七號ヲ削除スルト云フコトハ、宜シクナイト思ヒマス、殊ニ此法律ノ組織ハ、株主會社デハ總テ無記名式ノ株券ヲ發行スルコトヲ許シテアル、且ツ百五十五條ノ規定ニ依レバ、既ニ全部ノ拂込ミヲシタ以上ハ、會社ハ無記名式ノ株券ニシタクナクテモ、無記名式ノ株券ニシナケレバナラヌノデアアルカラ、殊ニ此無記名式ノ株券ヲ所有スルモノニ向ッテハ、總會ニシテモ何ニシテモ、免ニ角會社ガ如何ナル方法ニ依ツテモ、廣告ヲナセバ、自分ノ權利ヲ失ハズニ、會社ニ向ッテ權利ヲ主張スルコトヲ得ルト、斯ウ云フコトハ其時々ニ、例ヘバ地方ノ二新聞アル所ニ、第一回ニハ甲ノ新聞ニ廣告シ、第二ノ場合ニハ、乙ノ新聞ニ廣告スルト云フヤウナコトガアツテハ、到底此株主ノ權利ヲ主張スルコトハ出來マイト思フ、ツレデ私ハドウシテモ、此無記名式ノ株券ヲ發行シテ、會社ガ通知ヲシヤウト思ッテモ、出來ナイト云フヤウナ株主スラアル場合ニハ、是非共一定シタル廣告方法ヲ極メテ置ク必要ガアラウト思フ、從ッテ其一定シタル廣告方法ニ依ツテ、廣告セラレタトキニ、ツレヲ知ラナカッタト云フコトハ、會社ノ方ノ過失デナクシテ、見ナカッタト云フモノ、過失デアルト云フコトヲ、推定スルト云フコトハ、隨分重大ナル結果ヲ生ズルノデアアルカラ、此七號ヲ削ルト云フコトニハ、少シ反對ヲ致シテ置キマス

○(鈴木總兵衛君) 先キニ六號ノ及支店ノ文字ヲバ、實際ニ不便ガアル故ニ、削除說ヲ出シマシタガ、今政府委員ノ詳細ナル辯明ヲ得テ、何町何町目ト云フコトニハ、立入ラヌト云フ精神デアアル、細カイ所ヘ立入ルノハ、行政官ノ誤リデアルト云フ、斯ウ云フ御説明ヲ聞イタ以上ハ、此說ヲ取消シマス

○(採決々々) ト呼フ者アリ

○委員長(大岡育造君) サウシマスト七號ヲ除クト云フ鈴木君ノ修正ニ御同意ノ御方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

○(望月長夫君) 私ハ此百五十五條、是ハ度々質問シタガ、是ハ疑ガアル、政府委員ニ於キマシテモ、自分ノ頭ニ始メカラ、斯ウ云フ積リデ書クノデアルト云フコトデ、疑ガ起ラナカッタノデアラウト思フ、今日讀ンデ見レバ、少ナクトモ白壁ノ微瑕デアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居ラウト思フ、私ハ第百五十五條ノ第二項ヘ持ッテ行キマシテ「會社ハ前項ノ規定

○委員長(大岡育造君) 少數、次ニ修正ガゴザイマスレバ、御出シナサイ

ニ從ヒ株主ノ請求アリタル場合ノ外株券ヲ無記名式トナスコトヲ得ス」其結果トシテ二百六十二條ノ五號ガ、第百五十五條第一項トアルノヲ第二項ト直ル、是ハ第百四十七條、第百四十八條、第百四十九條ノ株券ハ、是ダケノコトガ出來レバ、發行ガ出來ル、即チ拂込ミ四分ノ一ヲ完済シタ場合ニハ、株券ヲ發行スルコトガ出來ル、ツレカラ第百四十八條ニナルト、株券ニハ左ノ事項ヲ掲グト云フコトガ書イテアツテ、其條件ノ中ニ株主ノ氏名ト云フコトガ書イテナイ、ツレデ四分ノ一ノ拂込ミガアツタトキニハ、總テ株券ニハ直チニ株主ノ氏名ナシニ無記名式ノ株券ガ出セルヤウニ見エル、然ルニ政府委員ノ説明ヲ聞キマスレバ、會社ノ方カラ直チニ無記名式ノ株券ヲ出スコトハ出來ヌノデ、株主ノ請求ガアツタトキデナケレバ、出スコトガ出來ヌノデアアル、又株金全額ノ拂込ミガアツタ以上デナケレバ、出來ナイト云フノデス、全額ノ拂込ミガアツテモ、株主カラノ要求ガナケレバ、無記名式ノ株券ヲ出スコトハ出來ヌノデアアル、政府委員ハ言ハレテ居ル、然ルニツレヲ制限スルノニ、ドウ云フ文章ガアルカト云ヘバ、第百五十五條ニ「株金全額ノ拂込ミアリタルトキハ株主ハ其株券ヲ無記名式トナスコトヲ請求スルコトヲ得」トアツテ、株主ガ會社ノ形式ガアツテモ無クテモ、無記名式ノ株券ヲ請求スルノハ、株金全額ノ拂込ミナダトキデナケレバ、出來ナイト云フノデアアル、株主ノ請求ノ出來ルノハ、株金全額ヲ拂込ミト云フコトハ、現ハレルケレドモ、會社ガ發行スルコトキニハ、記名式デナケレバナラナイト云フ意味デ、無記名式ノ株券ヲ發行スルコトガ、出來ヌト云フコトハ明カデナイ、將來ニ於テモ無記名式ノ株券ハ、弊害ノ多イモノデアアルシ、殊ニ弊害ノアルモノヲ、不明ノ文章ヲ出シテ置イテハ、私ハ非常ナ混雜ガ生シヤウト思ヒマス、ツレデ株主カラ、何時デモ請求ノ出來ルト見ルノハ、第一項デ會社ノ方デハ、前項ノ規定ニ從ッテ、株主ノ請求アリタル場合ノ外ハ、出スコトガ出來ヌト云フコトヲ、第二項ニ書イテ置ケバ、其意味ガ極メテ明瞭トナル、ツコデ此第二項ニ背イタモノハ、第百六十二條ノ制裁ヲ加フルトシテ置ケバ、會社ノ代表者ガ罰セラレルト云フコトニ明カニナリマス、若シ之ヲ此儘知ラズニ、舊ノ儘本院ヲ通過スルト云フコトデアレバ、政府委員ナドヲナブラズニ、此儘通過スルコトヲ希望スルノデアアルガ、既ニ一箇所デモ修正セラレテ見ルト、政府委員モ強チ御反對ニハナルマイト思ヒマス

○(花井卓藏君) 賛成致シマス、追々類似ノ規定ノ修正案ヲ出シタイ積リデアリマス

○委員長(大岡育造君) 此案ハ今日必要ヲ感シテ居ルコトハ、諸君モ御同様に思ヒマスカラ、日數モ既ニ少ナイコトデアリマスシ、ツレガ爲メニ交渉委員ヲ置クヤウニナルト、從ッテ日モ要シマスカラ、或ルベクハ御忍ニナルヤウニ願ヒタイ、ツレカラ唯今ノ修正ニ付イテハ、政府委員ノ御考ハ如何デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 極ク簡單ニ申シマス、唯今ノ望月君ノ修正ノ御意見ハ、原案ノ第百五十五條ノ趣意ヲ少シ明カニシタイト云フノデ、ツレ

ダケデアラナラバ、反對スル程ノ必要モナイノデアリマスガ、此條件ノ或ハ記名式ヲ發行スルトカ、無記名式ヲ請求スルトカ云フコトハ、法律ヲ特ニ記名式デアケレバナラヌト云フ——其出來ナイ場合ノ外ハ、當事者ノ合意ニ任セルノデアアル、例ヘバ爲替ノ手形ニシテモ、約束手形ニシテモ其通デ、振出ス者ト其手形ヲ受取ルモノトノ間ノ合意ニ依ッテ、記名式トシ無記名式トスルコトガ出來ルノデ、其他ノ證券ニ付イテモ、商法ニ掲ゲテアルモノ、外、幾ラモアラウト思フ、ソレヲ記名式ヲ發行スルトカ、無記名式ヲ發行スルトカ云フコトハ、一方ダケハ決シテ出來ナイノデ、雙方合意デアケレバ出來ナイ、サウ云フコトヲ原則トシデアアルノデアリマスカラ、百五十五條ニ其コトヲ掲ゲナイデモ、此原則ハ行ハレテ居ルモノト認メテ居ルノデアリマスカラ、望月君ノ茲ニ書込ト云フコトヲセヌデモ、其結果ハ同ジコトデアラウト思ヒマス、然シ第百五十五條ニ付イテハ、意味ハ明瞭ニナリマセウガ、他ノ條ニ付イテ色々關係モアリマスカラ、修正ニハ反對デアルト云フ意思ダケヲ申シテ置キマス

○委員長(大岡育造君) 第百五十五條ニ附イテ、望月君ノ修正說ニ同意ノ諸君ハ、舉手

舉手 少數

○委員長(大岡育造君) 少數デゴザイマス

○(鈴木總兵衛君) 私ハ第百六十條ニ付キマシテ、修正致シタイ「資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ハ總會ノ目的及ヒ其招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ取締役ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得」トアリマスガ、此ハ現行法デハ、五分ノ一以上トナッテ居ル、政府ハ今日ノ場合デ、役員ガ惡ルイコトヲスル豫防ニバカリ氣ガ附イテ、一方ノ株主カラ平地ニ波瀾ヲ起スヤウナコトノアル場合ヲ見テ居ラナイ、ソレハ往々私共モ認メテ居ル、此事ハ株主ノ權利ヲ擴張スルト云フ意味ニナッテ、文面上ハ立派デアリマスルガ、實際ニハ往々弊害ガアラウト思ヒマスカラ、現行法ノ如ク五分ノ一ト云フコトニ修正致シタイ十ノ字ヲ五ト改メ修正デス

○(花井卓藏君) 私ハ贊成シマス

○委員長(大岡育造君) 鈴木君ノ說ニ同意ノ御方ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 二人

○委員長(大岡育造君) 少數デ消滅致シマス

○(鈴木總兵衛君) 次ニ百九十八條ニ付イテ、修正ノ意見ガアリマス「裁判所ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ會社ノ業務及ヒ會社財産ノ狀況ヲ調査セシムル爲檢査役ヲ選任スルコトヲ得」斯ウ云フコトデアリマスガ、是モ前ニ述ベタ如ク五分ノ一ト修正致シタイ、モウ細カイコトハ別ニ申シマセヌ

○(花井卓藏君) 私ハ贊成致シマス

○委員長(大岡育造君) 決ヲ採リマス、同意ノ御方ハ手ヲ御舉ゲニナッテ……

舉手者 少數

○委員長(大岡育造君) 少數次ニ修正ガゴザイマスレバ……

○(花井卓藏君) 私ハ二編ニ付イテハ質問ヲ致シタル條項ハ、悉ク修正ヲ要スル考ヲ持ッテ居リマスルガ、此場合時ニ利アラズ、駢行カズデ、已ムヲ得ナイ譯デ、此儘ニ致シマス

○委員長(大岡育造君) ドナタモ二編ニゴザリマセヌケレバ、二編マデハ確定シタモノト思ヒマス、三編ニ移リマス

○(花井卓藏君) 第三編ニ一箇條修正致シタイ、是ダケデ修正ヲ致サナイノデゴザイマスガ、ドウカ贊成ヲ願ヒマス、四百二十八條修正ノ文章ヲ先ヅ讀ミ上ゲマス「保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人親族又ハ之ト利益ノ關係ヲ有スルモノナルコトヲ要ス」ト、ソレカラ「保險金額ヲ受取ルヘキ者カ死亡シタルトキ又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取ルヘキ者トノ關係カ止ミタルトキハ保險契約者ハ更ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定メ又ハ被保險者ノ爲ニ積立テタル金額ノ拂戻シヲ請求スルコトヲ得」ト云フノデス、ソレデ第一項ノ方ノ讀上ゲマシタ所デハ「是ト利益ノ關係ヲ有スル者」ト云フ文字ガ加ハル、ソレカラ第三項ノ方ハ關係ノ上ニ在ル親族ノ二字ガ抜クノデ——削レルノデ、サウ云フ趣意デ……

○(鈴木總兵衛君) 此事ニ付キマシテモ、前十二議會デモ私ハ梅博士ト質問應答シタコトガアリマシタガ、只今花井君ノ御說ニ利益ノ關係ト云フコトハ、ドウ云フコトデアリマスカ、生命保險會社ノコトニ隨分非常ニ弊害アルコトヲ認メテ居リマスルデ、御趣意ニ依ッテ、贊成スルシ、或ハ反對スルカモ知レマセヌガ

○(花井卓藏君) 此點ニ於キマシテハ御要求マデモナク、唯今マデ質問マデモ遠慮シテ居ッタコトデアリマスカラ、十分辯明致スコトデ、併ナガラ要領ダケハ簡單デ盡キナイコトハナイカラ、簡單ニ述ベマス、第一ノ理由ハ理論上ノ理由、即チ被保險人ノ受取金ヲ親族ノミニ限定スルコト云フ事柄ハ、生命保險ノ行ハル、ト云フ範圍ヲ狭小ニスルコト云フ事柄デアル、從ッテ其保險ノ效用ヲ縮メル、ソレカラ縮メレバ從ッテ事業ノ發達ヲ妨ゲルト云フ事柄ニナル、斯ノ如キコトニナルト云フト、之ヲ大ニシテハ國家經濟上ノ上ニ於テモ宜シキヲ得タルモノデアハルマイト思フ、又之ヲ小ニシテハ保險契約ヲ締結シタル人間ノ利益ト云フモノヲ會社ヲシテ壟斷セシムルノ事柄ニ陷井ルデアラウト思フ、又他ノ一面ヨリ考ヘテ見マスレバ、此契約ト云フモノヲ親族ノミニ限定シナケレバナラヌ必要ト云フモノハナイノデアアル、ソレデゴザイマスカラシテ、被保險人ト利益ノ關係ヲ有スルモノハ、總テ受取人タルコトヲ得ルヲ相當デアラウト思フ、既ニ保險契約ノ締結者ガ金ヲ會社ニ納メテ居ル事柄ハ、即チ最後ノ目的ヲ得ンガタメデアアル、其最後ノ目的ヲ得ルニ相續人ナリ親族ナキト云フ場合ハ、其金ハ會社ノ壟斷ニ歸スルト云フコトニナル、併ナガラ若シ是ニ弊ガ伴フト云ッタナラバ、或ハ弊ガ伴フカモ知レマセヌ、吾々

が裁判上デ見ル所ニシテハ、随分親族シテ互ニ相害スルコト云フ弊ガアル、併ナガラ是ハイヅレノ場合ニモ免ルベカラザル次第ゴザイマスカラシテ、親族ニシテスルモ此ノ如キ弊ガアル以上ハ、親族ノミニ是ヲ限定スルコト、云フ必要ハナカラウト思フ、總テ金錢ヲ目的トスル契約ト云フモノハ、其金錢ヲ目的ニ使ハシムルコト云フ方針ニ向ハシムルノガ、至當デアラウト思フ、之ヲ斷斷シテシマツテ汝ハ親族ニアラズ、汝ハ相續人ニアラズ——親族ト云ツテモドウ云フ程度デアアルカ、條項ガ不確カデアルト云フノデ、此金額ヲ受取ルコトガ出來ヌヤウニスルハ、元來保險ノ目的デナイト思フ、而シテ鈴木君ノ問ハル、コトハ、私ノ申シマスル即チ主人ト僕婢トノ關係、或ハ傭人ト被傭人トノ關係ノ如キ、或ハ債主ト負債主トノ關係ノ如キ、教師ト門人ト關係、團軀ト會員ト關係ノ如キ、ソレカラ最モ諸君ノ御賛同ヲ得ラル、コトデアラウト思フノハ、夫ト妾トノ關係、是等ハ最後ニ申シタコトハ、如何ニモ變御感シガアルカモ知リマセヌガ、實際夫妻——夫婦必シモ今日ノ世ノ中ニアルノデハナイ、種々ノ事情ニ於キマシテ夫妾ト云フモノガ、事實ノ上ニ於テ夫婦ノ關係ヲ有ツテ居ルモノガ幾ラモアル、サウシテ其子供ハ私生兒トシテアルヤウナ事柄ガアツテ、必シモ妾ヲ蓄ヘルト云フコトガ惡ルイト云フコトデナクシテ、事情已ムヲ得ズシテサウ云フヤウナ場合ガ出來テ居ル、併ナガラ今日ノ法律デハ妾ハ二等親ト云フコトハ、認メテ居ナイカラシテ、實ニ不幸ノ結果ヲ見ル、事實ノ上ニ於テハ詰リ子ガアルノデアアルガ、詰リ親族デナイト云フノデ、其金ヲ受取ルコトガ出來ナイノデアアル、尤モ證明ニ依ツテ受取ルコトガ出來ルト思フガ、随分爭ニナルコトダラウト考ヘマス、ソレカラ唯今マデ申上ゲタノハ、理論上ノ理由デアアルガ、事實上ノ理由トシテハ、現在私ガ唯今申シタ事柄ハ、日本ノ今日ニ於テモ行ツテ居ルト云フコトデアリマス、又イヅレノ國ニ於テモ、之ヲ限定スルコト云フ事柄ガ、甚ダ法理的デアツテ、甚ダ原則的デアルト云フコトヲ認メラレテ居ル、勿論限定セヌ所ガアルデアリマセウガ、其限定ニ自分ガ法理的デアルト云フコトハ、原則デアルトハ認メラレテ居ナイト思ヒマス、最後ニ鈴木君サウ御注意ガアリマシタカラ申シマスガ、此弊害ト云フモノハ、實ニ恐ルヘキ殺害ト云フ弊デアアルガ、是ニハ刑法ノ制裁ガ、嚴トシテゴザリマスシ、商法ノ中ニ於テモ、四百三十一條ニ「左ノ場合ニ於テ保險者ハ保險金額仕拂ノ責ニ任セス」ト云フコトガアツテ、弊ヲ防グコトニナツテ、刑法ト商法ト相待ツテ、十分完全シテ居ルト思ヒマスカラ、徒ニ此範圍ヲ廣フスルコト云フ事柄ハ、何ノ理由ガナイノデスカ、唯今申シタ如ク、是ハ日本ノ現今ノ事情トシテ避ケベカラザルコトデアリマスカラ、私ハ此修正ヲ總テノ修正ヲ出スノヲ止メマシテ、犠牲ニシテ出シタノデアリマスカラ、御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○(望月長夫君) 私ハ花井君ノ說ニ全部同意ヲシ兼ネマスガ、併ナガラ其必要ハ認メテ居ルノデアリマス、是デハ餘リ廣ロスギルト思フ、私ハ「是ト利益ノ關係ヲ有スル」ト云フ文字ハ、被保險者ト利益ノ關係ヲ有スルモノ、被

保險者ノ相續人、或ハ其親族ト關係ヲ有スルモノヲ、受取人トスルト云フマデノ必要ハナイ、被保險人ト利益ノ關係ヲ有スルモノトスル、其文字ガ意味ヲ現ハスコトガ出來ナケレバ、私ハ少クモ財産上ノ關係ヲ有スルモノトシタイノデス、私ハ今花井君ガ、最後ニ引イタ例ガ、皆サンテ感動セシムルト思ヒマスカラ、ソレニ付イテ言ヒマスガ、私ガ妾ノタメニ保險契約ヲナシテモ、妾ノタメニ契約者ニナツテ金ヲ出スト云フコトハ、此法律デ禁ジテナイ、然ルニ妾ガ死シタト云フ場合ニ、其妾ガ生シタ子ガアツテ、其子ヲ受取人トスルコトモ、亦此法律デ禁ジテ居ナイ、ドウ云フ場合ニサウ云フ必要ガ生ズルカト云フト、妾ガ死シタタメニ、損ヲシタ、親ガ金ヲ取ラナケレバナラヌト云フマデニ、保險ノ範圍ヲ擴メル必要ハナイ、妾ガ死シタタメニ、此方ハ利益ヲスル、損失ヲスルト云フト、云フマデモナク妾若クハ妾ノ受取人ガ受取ルノハ禁ジテ居ナイカラ、私ハサウ云フ場合ハ、要ルマイト思フケレドモ、其妾ト私トハ、財産上ノ關係ヲ有スルコトガアル、二十年ナリ十年ナリ、一定ノ期間若クハ永久錢ヲ拂ツテ、藝妓ヲ雇ッタトスレバ、私ガ藝妓ノ抱主デアアル、即チ參百圓ナリ四百圓ナリ金ヲ出シテ、雇ツテ、置イテ其藝妓ガ生キテ居レバ、其金ハ這入ッテ來ル保險ガアルガ、中途ニシテ死スレバ、私ガ前ニ拂ッタ金ハ、全部損失ニナル、是ハ藝妓ノヤウナ汚イ例ニセズトモ、雇傭ノ關係ノ場合ニ於テ、常ニサウ云フコトガ生ズルノデアアル、ソレヲ防グニハ、保險シテ中途ニシテ死スレバ、其金ヲ取ルト云フガ、保險ノ大原則カラ言ツテモ、少シモ懸念ガナク、且ツ弊ノ上カラ言ツテモ、其者ガ死ズニ居レバ、利益ガアルノダカラ、死亡ヲ企圖スルト云フコトハナイ、故ニ被保險者ト其身体ニ就イテ、直接ノ關係ヲ持ツテ居ル場合ハ、保險ヲシテ受取人ニナルコトハ、聊カ弊ノナイコト、存ジマス、花井君ノ修正ハ、廣過ギルト思フカラ、文字ハ若シ其修正ガ成立テバ、文字ハ尙ホ能ク相談シテ改メマセウガ、免ニ角私ハ被保險者ハ、財産上ノ關係ヲ有スル場合ニ限ツテ、此修正ヲ致シタイト思フ

○委員長(大岡育造君) チョット申シマスガ、花井君ニ御賛成ニナルデスカ

○(望月長夫君) 花井君トハ違フノデス

○委員長(大岡育造君) ソレデハ花井君ニハ、賛成ガアリマセヌ

○(鈴木總兵衛君) 私ハ趣意ニ賛成致シマス、文字ニ附イデハ、望月君ト同ジク不穩當デアルト思ヒマス

○(花井卓藏君) 私ハ望月君ノ說ニ對シテ、辯明ヲ致シタイ點ガゴザイマスガ、暫ク後ニシテ、前ノ修正案ヲ撤回シテ、通過ノ幸福ヲ得タイタメニ、修正案ヲ出シマス、即チソレハ唯今望月君ノ言ハレタ意味ニ致シマス、文字ハ何トカ訂正ヲ致シマス、ソレナラバドウカ行キサウデアリマスカラ、其邊ヲ私ノ說ト致シマス

○(關直彦君) 施行條例ヲ讀ミマセヌガ、ドウナツテ居リマスガ、既ニ契約ヲシテ受取人ガ親族ニナイトキニハ(ソレハ宜イコトニナツタ)ト呼フ者アリ)ソレデハ花井君ノ今ノ說デスガ、私ハ我慢ヲシテ居ラウト思ツタガ、是

ガ出タ以上ハ、賛成ヲシナケレバナラヌ、簡單ニ賛成ヲ言フテ置キマス、ドウ
カモウ是レ位デ、我慢ヲシテ願ヒタイ、後トハ……

○委員長(大岡育造君) 政府委員ノ御考ハドウデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 簡單ニ説明ヲ致シマス、此商法修正案ニ於テ、
此保險ノ分ニ就イテ、取ツタ主義ガ、大變ニ崩レマスカラ、其事ハ十分説明
ヲシテ置キタイデアリマス、商法修正案ニ於キマシテハ、先ヅ大體保險ヲ大
別シテ二ツトシテ、即チ損害保險ト、ソレカラ生命保險ト云フコトニ、區別
ヲ致シタノデアリマス、損害保險ハ其種類澤山アリマセウ、其生命保險ニ於
キマシテモ、様々ナ種類ガアルデアリマセウ、併ナガラ大體ニ於ケル區別ノ
標準ハ、既ニ第三百八十五條ニ明定シテアルデアリマス、保險契約ハ金錢
ニ見積リ得ベキモノニ限リ、之ヲ以テ其目的トナスコトヲ得ト云フノデ、損
害保險ノ根本デアリマス、生命保險ト云フモノハ、固ヨリ損害保險トハ同ジ
モノニ見做スコトハ出來ヌノデ、先ヅ大體大キイ違ヒヲ擧ケレバ一ツトナル、
損害保險ハ即チ損害ノ填補ヲ目的トスル、ソコデ其ノ損害ノ額ヲ超ヘテ保險
金ヲ貰ハフト云フコトモ出來ズ、又被保險物ノ價格ヲ超ヘテ保險スルト云フ
コトモ出來ヌ、故ニ二重ニ保險シ、或ハ超過スル保險ヲスル場合ニハ、若シ其
契約ヲ有效トシマスルト、實際其被保險物ノ價ヨリモ以上ノ填補ヲ被保險者
ガ、得ルト云フ結果ニナリマスカラ、ソレデ其ノ損害保險ノ方ハ禁ジテア
ル、又損害保險ノ方ニアツテハ、此損害ガ果シテ起ルヤ否ヤト云フコトガ分
ラヌノデアアル、所ガ生命保險ニ於テハ、必ズ被保險者ナルモノガ極ツテ居ル
ノデアリマス、又損害保險ニアツテハ、契約ヲ結ブ當時ヨリ損害ノ填補ヲ請
求スルモノデ、之ガ續イテ居ラネバナラヌノデアアル、ソレデアリマスカラ契
約ヲ結ブ當時家ノ所有者デアッタガ故ニ火災ノ保險契約ヲシタ所ガ、契約中
ニ其家ヲ他ニ賣ツテシマツテハ、モウ其保險契約ハ其人ニ對シテハ、効ガ
ナイノデゴザイマス、所ガ生命保險ノ方ハ、必シモ此既ニ契約ヲスル當時ニ
必要デナイト云フコトニシテ居ルノデアアルカラシテ、ソレデ損害ト云フコト
ノ生ズルト云フコトモ云ハレナイノデ、損害保險ト生命保險トガ、ソレハ違ッ
テ居リマスカラ、ソレデ外國ノ學者ハ説ヲ見テモ、生命保險ハ保險契約
デハナイト云フコトヲ言フテ居ッテ、即チ生命保險契約ハ貯金ノ契約デア
ルト云フコトヲ言フテ居ル位デアリマス、ソレ程ニ性質ノ違ッテ居ルモノデア
ルカラシテ、損害保護ノ理論ヲ以テ、生命保險ノ理論ヲ説クコトハ出來ナイ
コトデアアル——出來ナイコトデアアルニ依ッテ、此損害保險ト生命保險ト云
フモノヲ大別シテ、サウシテ一節二節トシタノデアリマス、デ損害保險ノ之
ハ被保險物ノ價ト云フコトガ、根本ニナツテ、生命保險ニハ據ルベキモノハ
アリマセヌ——據ルベキモノガナイ故ニ、何トカ一ツ契約ノ有効デアアル、無
効デアアルト云フ標準ヲ他ニ求メナケレバナラヌノデ、ソレデ此第四百二十八
條ノ如キ規定ヲ以テ、サウシテ契約ノ有効デアアル——斯ウ云フ契約ハ有効デ

アル、此條件ニ適ハナイ契約ハ無効デアルト云フコトヲ明記シタ積リデアリ
マス、ソレガ先ヅ大體此保險ノ理論ヲ商法修正案ニ採ツタト云フコトノ概略
デアリマスカラ、實際ノ例ニ付イテ申シマス、花井君ガ澤山擧ゲラレタ例
ハ、私モ此一兩度ニ聞ク處ノ説デアリマスルケレドモ、雇人ト雇主ノ關係ガ
アルトカ、或ハ此教師ト門人ノ關係ガアルトカ云フヤウナ場合ニ、例ヘバ雇
主ガ雇人ノ生命ヲ保險スル場合ニ、雇人ノ生命ヲ保險ニ附シテ、サウシテ萬一
其雇人ノ死シタ場合ニ、雇主ガ其金ヲ取ラウト云フコトヲ契約ニ定メテ置ク
ト云フコトハイカナイノデアアルガ、併ナガラ雇人ト云フモノヲ保護シヤウト
云フヤウナ場合ニハ、其雇主ヲ以テ保險金額ノ受取人トスル、或ハ其債主ヲ
以テ保險金額ノ受取人トスルト云フコトハ、固ヨリ必要ナコトデアアル、ソレ
ヲ禁ズルト云フノハ、第四百二十八條ノ精神デナイノデアアル、或ハ今申シタ
ヤウナ例ニ付イテ不便ガアルコトヲ言ウテ居ルノハ、此事タルヤ或ハ雇主ガ
自ラ保險金ノ受取人トナラウトスルト、ソレハ不便デアアルガ、併ナガラソレ
ハ必要ハナイノデアリマスカラ、雇人又ハ其親族ヲ以テ保險金ノ受取人トシ
ヤウト云フコトハ、妨ゲナイノデアリマス

○(鈴木德兵衛君) 少シ政府委員ハ誤解ガアリハセヌカト思フ

○委員長(大岡育造君) モウ論旨ハ盡キテ居ルヤウデアリマス、サウスルト
斯ウナルンデスカ「保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者其相續人親族又ハ被
保險者ト利益ノ關係ヲ有スル者ナルコトヲ要ス」此花井君ノ修正セラレタル
修正ニ御同意ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

○委員長(大岡育造君) 多數デゴザイマス、文字ハ不十分ナ所ガアレバ、政
府委員ニ任スコトニ致シマセウ、ソレカラ其結果トシテ、第二項ノ被保險ノ
親族ノ下ヘ「又ハ被保險者ト利益ノ關係ヲ有スル者ニ限ル」ト云フコトヲ矢
張前ニ加ヘタモノト同ジダケノ……

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)
○(花井卓藏君) ソレカラ第二項ニ付イテ決ヲ御採リ下サイ、是モ自然ノ結
果デスカ……

○委員長(大岡育造君) ソレデハ第二項モ……

○(花井卓藏君) 今ノ意味ダケヲ申シマス「又ハ被保險者ト保險金額ヲ受取
ルヘキ者ト第一項ノ關係アリタルトキハ」ト云フ意味ナンデス

○委員長(大岡育造君) 第二項モ無論自然御同意ノコト、認メマス

○(花井卓藏君) 四百三十一條モ、矢張前ニ關係ガアル、其處ニ關係スル字
ガアルデセウ、四百三十一條第三項保險金額デス、是ハ矢張前項ノ結果、第
四編第五編ハ別段修正ノ廉ハナイト致シテ置キマス

○委員長(大岡育造君) 然ラバ各編共ニ委員ノ調査ハ了リマシタデゴザイ
マスルガ、尙ホ御注意ノタメニ申上ゲテ置キマスガ、折角ノ御骨折デ修正ニ

ナッタモノデゴザイマスカラ、成ルベク本會ノ通過ヲ期スルノデゴザイマス
ルガ、今マデ御修正ニナッタ通りデ、別ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(大岡育造君) 然ラバ之ヲ以テ確定シタルモノトシテ、本會ニ報告
シマス、修正セラレタル重モナル箇條ハ二箇條、ソレニ關係シタルモノハ一
ニゴザイマス、是デ閉ヂマス

午後四時十一分散會